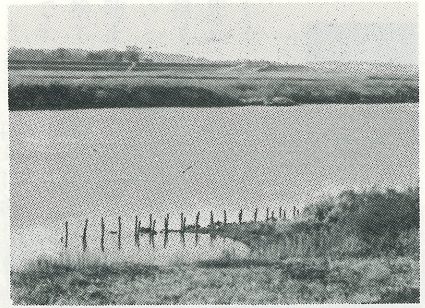




とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和53年12月20日発行 No.177



▲11月29日午後2時から、利根町公会堂で「温泉の話」というテーマで、第7回健康教室が開催されました。写真は診療所の近藤先生です。

脳卒中の予防と手当

冬を迎え、脳卒中の多い季節となりました。

脳卒中は、血管の障害によって、急に意識を失ったり手足や口がきかなくなる状態をいいますが、これにはいろいろの種類があります。

脳内の血管が切れておこる脳出血、脳血管が詰まってしまふ脳梗塞(脳血栓と脳塞栓がある)脳をおおっているくも膜と脳の間に出血するくも

膜下出血、その他軽い脳卒中といわれ、数分から半日くらいでなおる一過性脳虚血発作などがあります。

脳卒中で身近かの人が倒れた時どうすればよいか、まず絶体安静が原則ですが、発作はいろいろの場所でおこりません。田畑や路上では長く置けません。まず救急車を呼び、医師がかけつけたら直ちに病院に運べるような態勢をとり

ましよう。便所や台所、庭などでは直ちに座敷に運び医師を待ちます。下着はできるだけ脱がせるようにします。そのとき無理をしないで、缺て切つて脱がせると楽です。脳卒中発作のとき、食べ物や吐くことが多く、そのため気管につまんで窒息することもありますので、首を横に曲げて吐きだしやすい姿勢をとらせましよう。

脳卒中を予防するためには精神的緊張を除くこと、寒冷を防ぐこと、食事は腹八分、とくに食塩と脂肪のとり過ぎに注意しましょう。日常生活に気をつけて高血圧の管理は主治医との長いきあいがたいせつで、注意さえすれば恐しい脳卒中発作は必ず避けられるものと思えます。(取手市医師会健康教室)



▲熱心に耳を傾ける参加者の皆さん。健康管理には細心の注意を払い、よいお年を、お迎えください。

第一分団と第三分団に栄冠

消防ポンプ操法競技大会

第十二回利根町消防ポンプ操法競技大会が、好天に恵まれた十一月五日午前八時から利根中学校校庭で開催されました。

消防の三要素である「人と水と機械」を結集した各分団では、大会前すでに三十日、四十日、五十日と訓練に訓練を積み重ねてきただけにだれが見ても優劣の差はつけがた

く鐘、大鼓、笛、幟旗等による応援もまた例年にない盛況ぶりでした。

しかし、厳正な審判の結果僅少の差で次のとおり入賞がままりました。

○自動車ポンプの部

優勝 第一分団(内宿・浜宿・押付本田)
四六八・五点
準優勝 第十四分団(押戸・

奥山)
第四五・五点
第三十七分団(立崎)
四五六点

○小型動力ポンプの部

優勝 第三分団(上柳宿・下柳宿・谷原)
三六一・五点
準優勝 第十九分団(惣新田)
三五五点

第三位 第八分団(下井・下曾根)

第四位 第十八分団(中谷)

第五位 第二十分分団(加納新田)
三四七・五点

なお、この日優勝した第一分団と第三分団は、十一月十八日、藤代町で行われた第二十九回茨城県消防ポンプ操法競技大会北相馬地区大会に出場し、いずれも優勝の栄冠を獲得いたしました。

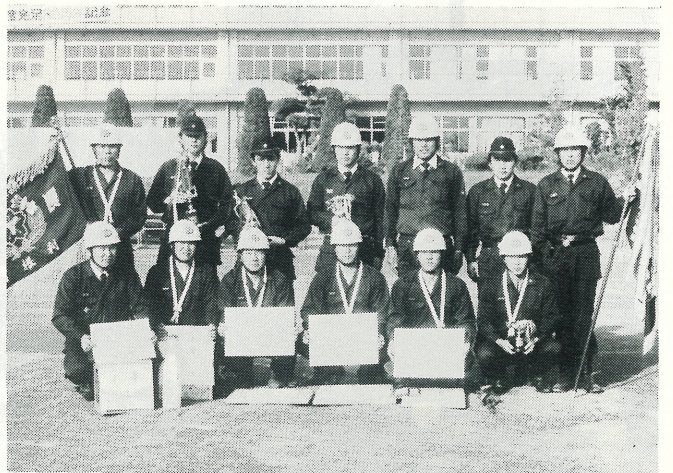
おめでとございました。
出場選手ご紹介(敬称略)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|------|------|
| 山崎総一郎 | 川上 優 | 桜井 勇夫 | 鈴木 繁 | 渡辺 譲 |
| 小能 保男 | 関口 康裕 | 酒卷 剛 | 須藤 剛 | |

▲厳正な審判と各分団の応援の中で行なわれた操法大会の実際。(11月5日)



▼下の写真は小型動力ポンプの部で優勝した第3分団の精鋭。



▲第1分団の精鋭。この大会に終始ご協力を賜わったご家族や各部落の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

たばこ ポイと投げ捨て 損害額は年間百七億円

「たばこの一本ぐらいいたしたくないだろう」——と思わないまでも、ポイと投げ捨てた経験をお持ちの方も多いいと思います。しかし、火災防止の上では、たばこの投げ捨てがいちばんくせものなのです。

ここ三、四年は減少しているものの、たばこによる火災は、毎年火災原因のトップにあり、昭和五十一年の損害額は、全国で百七億円にものぼっています。

これを一日当たりで見ると毎日約二十四件発生し、三千

万円を灰にしていることになるのですから、もったいない話です。

このようなたばこによる火災の六割は「投げ捨て」から発生しています。次いで、灰皿などのふちに置いた「すいかげが落ちて出火」したのが十四%「消し忘れ」が一〇%となつています。また、たばこによる林野火災も多く、ハイキングなどに来て、つい気が軽やかにになり、たばこの一本くらいという軽率な行動の結果です。

たばこの投げ捨てはしない



▲火災の発生原因は、たばこが第一位だそうです。気をつけましょう。

歩行中の喫煙はしない、寝たばこはしない——この三原則を喫煙者は必ず守りましょう。また、たばこに限らず、冬はとかく火災の発生しやすい

時期ですので、火の用心には細心の注意をはらってくださるようお願いいたします。それぞれの持場で生かせ火の用心



議会だより

市街地の下水道工事決まる

【第七回利根町議会臨時会】

昭和五十三年第七回利根町議会臨時会は、十一月二十五日午前十時から役場の会議室で開かれ、次の議案一件が審議され、原案どおり可決されました。

○議案第一号「昭和五十三年度利根町下水道事業特別会計補正予算(第二号)」についてこの件は、下水道事業特別

会計の債務負担行為の補正(追加)を行つたもので、金額は、限度額一億六千万円、期間は、昭和五十三年度から五十四年度までです。

【解説】新町から公会堂まで七七九・五二回の市街地の公共下水道の工事を一挙に行うための予算であるが、五十三年度中に工事を完了させることは不可能なため、この措置をとつたものです。



住民サービスの拡大に コンピューター導入

人口が増加するに伴い、行政需要はますます増大し、複雑多岐にわたっています。これらの行政需要に対処し

積極的な行政活動を展開していくためには、住民に関する情報の集中的管理を行い、精度、質を高め関連データの同一性を保持し、住民サービスの向上、大量事務の省力化を図ることを目的に、コンピューター(電子計算機)導入事務が進められています。

のちほど、住民基本台帳の正確をはかるため「住民記録の照会についてのお願ひ」の往復はがきが、各世帯に配布されますので、必ず内容を確認して返送してください。皆さんのご協力をお願いいたします。

(企画財政課電算班)

アジア地域国際青少年 セミナーを迎えて

国際青少年セミナーとは、「開発下の環境にある青少年の現状と将来に対する社会の責任を直視し、よりよい社会の実現を目ざして、アジア地域十六か国青年代表が国際的視野で検討し合う」目的で催されるもので、この計画に町主脳部、社教とも賛同し、実

地研修地として十一月十日から同十八日まで、中央公民館を会場として、町のありのままの姿を見せ研修してもらったこととした。アジア地域からは、
○ニュージーランド キム・スパックマン（幼稚園教諭）
○フィジー シヤンティ・チ



▲11月11日役場をおとずれたアジア地域の皆さん。

ヤンドラ（青少年協会指導者）

○シンガポール 張玉霞（公民館指導員）

○ホンコン 黄匡忠（ボランティア協会員）

○スリランカ MFSムヒド（青年会議所所員）

○タイ Cチャロエンホル（王立大学講師）

の六名と日本からの参加者は八杉・桐山・佐塚・鈴木・森田・小橋・堀内・山田の諸君である。

また、期間中に西独青年セミナーのハース団長も来館された。役場での町開発計画、家庭生活、歴史民俗・教育行政・幼小中校・団地・工業誘致の状況等の見学視察、町長主催夕食会をはじめPTA、青年教師、商工会青年部、多数の青少年との歓談交流と、九日間の日程を精力的にこなし、夜の更けるまで意見交換討議に睡眠時間を削っての真剣な活動は敬服に価するものだった。

代表のチャンドラ君は「渡された地図にも見当たらない小さな町利根に割当てられ不安だった。しかし、今この町を去るとき私達六名は、言葉の不自由をこえて本当の日本人の心を学ぶことができた最



▲セミナーの期間中食事のお世話をしてくださった町の食生活改善推進員の皆さんとにこやかに記念撮影。

も恵まれたグループだと自信をもって言えます。民泊家庭での心づかい、食事の世話をしていたいただいた四十人のお母さん方、熱心に教育を語った先生たち、意欲的な青少年諸君、そして町長さんはじめ町

主脳の皆さん、寒さを忘れさせてくださった皆さんのあたたかい心を私たちは終生忘れず、学んだ数々のことを自分たちの国で役立てます。利根

町の皆さん、アリガトウゴザイマシタ。」と別れの言葉をのこした。

彼等の研修をとおし、日本人のものの考え方、教育のあり方、社会参加の問題等今後の町づくりに役立つ発言を得られ、町の青少年に立ち上る意欲を与えられたのは、なにより成果だったと信じる。

（中央公民館）



東組チーム優勝

11月12日(日)午前9時から守谷町常総グラウンドで、北相馬郡子ども会育成連合会主催によるソフトボール大会が開催されました。参加チームは、各町2チームずつで予選を勝ちぬいたチームだけあって、各試合とも熱戦が展開されました。

決勝は、利根町同志となり、結果は下記のとおりです。あまり天候にも恵まれず寒空でしたが、みんな日ごろの練習の成果を発揮して、力いっぱい戦っている姿に胸が打たれました。また来年の郡大会をめざしてがんばってください。大会に際し、ご協力くださいました先生並びに役員のかたがたには大変ご苦労さまでした。

Aブロック

- ①守谷A 3-11 藤代A
- ②守谷A 1-9 利根(モンピースジュニア)
- ③藤代A 1-3 利根(モンピースジュニア)

Bブロック

- ①守谷B 3-6 藤代B
- ②守谷B 0-10 利根(東組)
- ③藤代B 0-4 利根(東組)

決勝 [写真上東組、下モンピースジュニア]

利根(東組) 2-0 利根(モンピースジュニア)



あなたは健康ですか

茨城県メディカルセンターの健康増進センターでは、医学的検査と高性能の測定器械によって各種類の体力測定を行っています。

そのデータをもとに運動指導、栄養指導を実施して、みなさまの健康的な生活向上へのお手伝いをしておりますので、ぜひお試しください。

ご利用のご案内

●お申し込み方法

電話または、はがきで申し込みください。申し込みをしていただきますと、必要書類を郵送します。(受診のしおり・問診カード等)

●ご用意いただくもの

健康増進センターをご利用なさる時は、運動服・運動靴・タオル等をご持参ください

●開館日と閉館日

開館日 毎週月～土曜日
午前8時30分～午後5時
休館日 毎週日曜日・祝祭日
12月28日～1月4日

●料金

標準コース……………15,000円
選択コース……………4,500円
生徒コース(中・高校生)…2,000円
(一般団体については割引がございます。詳しいことは直接、当センターにお問い合わせください。)

●お問い合わせお申し込みは

(財)茨城メディカルセンター
水戸市笠原町字上組489番地
健康増進センター
0292 (41) 5350 (直通)
(41) 5328 (代表)

●交通機関

国鉄水戸駅・駅西(高島屋裏)から茨城交通及び関東鉄道バス
本郷経由笠原十字行き
払沢経由笠原十字行き
メディカルセンター前下車
国鉄水戸駅よりタクシー15分

社協だより

「赤い羽根」共同募金にご協力ありがとうございます

毎年行われている共同募金運動は、皆様方との深いご理解とご協力により好成績で終了いたしました。次にその結果を報告して、ご協力に對し厚くお礼を申し上げます。

目標額一百二十一万円を掲

「歳末助け合い運動」に



▲11月19日(日)中央公民館で恒例の敬老会が開催されました。
お年寄りの皆さん、いつまでもお元気で…。

協力を

毎年十二月は、歳末助け合い月間です。町内の恵まれなにかた、助け合いを必要とするところへあたたかいご援助をお願いいたします。

昨年度の収納実績と配分結果を再度報告いたします。

収受

現金

七十一万四千四百四十一円

白米(もち米を含む)

五八六・二kg

配分

前記の金額と白米を次のように配分しました。

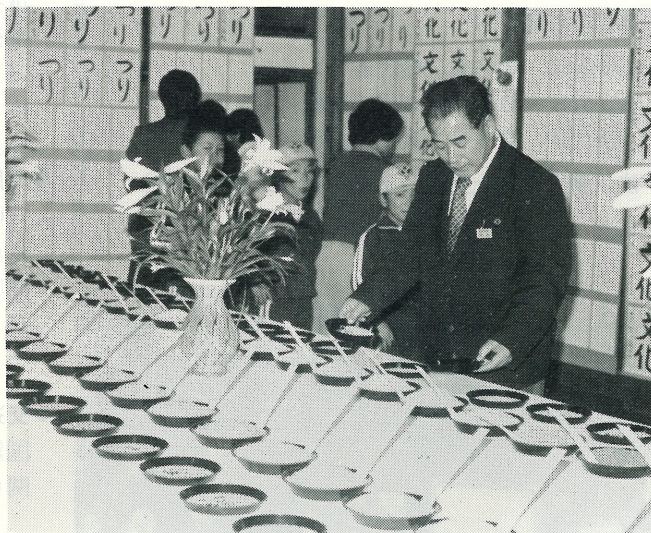
町内の四三戸、一〇九人へ身体障害者、独居老人、ねたきり老人、交通遺児のうち配分の必要と認めるかたと施設等へ長期間入院、入所しているかたに贈りました。

ぞうきん二〇〇枚を寄付

押付新田老人クラブ

押付新田老人クラブ(桜井良太郎会長ほか五十人)では会員がまごころこめて縫いあげたぞうきん一〇〇枚を文小學校へ寄付されました。

なお、先月号(5)ページ「善意の寄付」の原稿の中で、松



▲地蔵市の期間中、公会堂で町内で生産されたコシヒカリをはじめいろいろの穀物の展示会が行われました。

葉さんが現金二〇、〇〇〇円とぞうきん一〇〇枚を寄付された旨掲載しましたが、このぞうきんについては、押付新田老人クラブが寄付されたものですので、訂正してお詫び申し上げます。

たびたびの善意に對し、厚くお礼を申し上げます。

みんなで協力正しい調査

昭和53年工業統計調査

12月31日現在で工業統計調査が実施されます。この調査

は、工業の国勢調査ともいえるもので、製造業に属するすべての事務所を対象として、工業の実態を明らかにすることを目的に、明治四十二年から始められ、大正九年から毎年継続して行われています。

皆さまの事業所に調査員が記入依頼にお伺いいたしますから、年末年始のお忙しいところお手数ですが、調査票の記入提出についてご協力くださるようお願いいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆

十二月一日から

道路交通法がかわりました

道路交通法が、七年ぶりに大幅改正され、十二月一日から施行されました。

今回の改正は二・三人に一人が運転免許を持つ「国民皆免許時代」を迎えて、クルマ社会の新しい秩序づくりをめざすものです。

「酒酔い」は免許取り消し

麻薬や覚せい剤を飲んだの運転と、酒酔い運転は厳罪で一度の違反で免許は取り消されます。

「麻薬・覚せい剤運転」はこれまで過労運転並みの比較的軽い処分(違反点六)でした。しかし、大事故につな

がる危険性が強いうえ、麻薬覚せい剤の常用による中毒症を防ぐ意味も含めての厳罪(十五点)です。

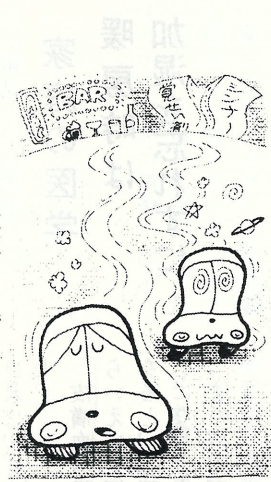
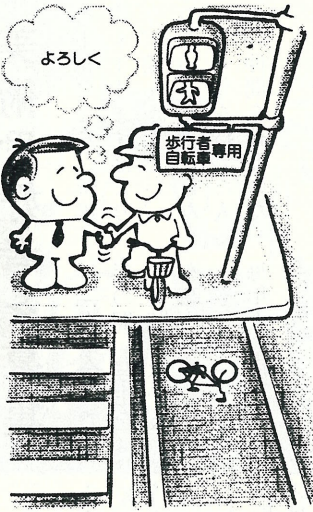
酒酔い運転は従来、十二点でしたが、この改正で十五点に引き上げられました。麻薬・覚せい剤運転と並んでの「最高点」です。

無車検

無保険も違反点

いままでは道路交通法違反に問われるのみで、行政処分を受けなかった次のような違反も、今後は処分の対象になります。

無車検・無保険(強制保険)はいずれも違反点六。車庫



免許取り消し

代わりに道路を使用した「青空駐車」は二点。夜間の八時間以上の路上駐車が一点。この四つは車を持つ者の最低の責任で、守れない人は車を持つ資格がないといえるでしょう。

その他

自転車の通行安全、自動二輪、原動機付き自転車の乗用ヘルメット着用義務づけ、ジグザグ運転、暴走行の禁止等々、道路交通法が大幅に改正されましたので、運転者は、同法をよく勉強して、くれぐれも違反のないようご注意ください。

優良ドライバーに

恩典

優良ドライバーには、恩典があります。

厳しい取り締まりばかりが決して能ではないというわけです。優秀な運転者にはごほうびをあげ、一層、安全運転に心がけてもらいたいというねらいです。

二年間、無事故・無違反の運転者が、スピード違反や信号無視など違反点一点までの軽い違反を犯し、その後二か月間無事故・無違反だった場合は、この点数は違反点数からはずされます。いままでは、この点数の「消



▲小春びよりに恵まれた11月のとある日利根川の投網風景をとらえてみました。

美術愛好者を募集

十二月も下旬になり、新年を迎える声もますます高まりました。昨今、絵をかきたい、写真を撮りたい、彫刻をしたいなどという希望を持った人たち十数人の仲間を紹介いたします。

名称は「光竜会」と申しませう。

「光竜会」では、ここ十数年の間、写生をはじめ、會員の親睦をはかると同時に技術を高めあってきました。

そして、その結果として、毎年十一月下旬に町展覧会を催してきました。この展覧会を通じて、より多くの人たちに絵を書く楽しさ、また、写



▲光竜会の美術展。家族連れらしい鑑賞者が…。
11月25日利根町公開堂で写す。



▲昔なつかしい地蔵市。
11月25日徳満寺下で写す。

真を撮る、彫刻を作る楽しさを味わっていたらだいたいと思えます。

そこで、私たち「光竜会」と笑いを交えて楽しく絵をかきたい、と思っておられる皆さまを募集しております。

どうぞ一度ご連絡ください。連絡先は次のとおりです。

上曾根 鈴木 重雄

(電話)二〇六七

家庭の医学

暖房時は

加湿を忘れずに

寒くなりました。お宅の暖房はいかがですか。われわれ

が快適だと感ずる温度条件は季節、年令、性別、衣服によつて、それぞれ異なります。したがつて、だれもが快適と感ずる温度は一定しないわけです。

しかし、一般的にいえば気温が摂氏十三度以下になるとわれわれのからだは、じつとしていて手足などを動かさなければ、しだいに冷えてきます。

皮膚血流量の研究の結果からいえば、摂氏十六度以下になると、暖房が必要ということになります。

また、暖房すると湿度は低くなり、空気が乾燥し、鼻やノドの粘膜も乾き細菌感染が

起こりやすくなります。このために湯気を立てるなど加湿が必要です。

こういった条件などからみると、普通に生活している状態の場合、シーズンに合った衣服を着て、気温が摂氏十七〜二十五度、湿度四〇〜七〇%、風速が秒速五十七センチ以下というときに、「快適」と感ずる人の割合がいちばん多いようです。

このほか、暖房すると暖かい空気は上に、冷たい空気は下になりますので、上下の空気の対流をよくして室内を平均した湿度にすることが大切です。

☆☆☆☆☆☆

保育所入所児童を募集

昭和54年度保育所入所希望者の募集については、回覧でもお知らせしましたが、現在保育所(園)へ入所中の児童のうち、来春4月に小学校へ入学される児童がありますので、その児童の補充として次のとおり入所申請の受け付けをいたしますから、希望者は申請してください。

- ただし、募集人員は、文間保育所約20人、東文間保育園約20人、布川保育園約37人です。希望者が多いときは措置基準該当者でも入所できない場合もありますのでおふくみおきください。
- (1)入所児童の資格
利根町内に居住する学令前の児童で保育に欠けるもの
- (2)入所受付期間
昭和54年1月8日から同1月31日まで
- (3)入所受付場所
利根町役場厚生課、文間保育所、東文間保育園、布川保育園
- (4)申請の際必要なもの
認印

給与所得者は源泉徴収票
○内職証明書(内職をしてる人)

○雇用証明書(勤めている人・パート)
(注)○印は、役場で定めてある用紙を添付してください。

☆☆☆☆☆☆☆☆

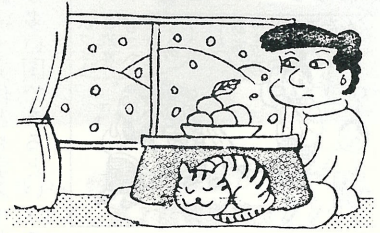
とね俳句会会員募集

本年四月、俳句愛好家の集まりである「とね俳句会」が誕生してからいつのまにか七か月余りが経過し、会員も現在では三十七人にふえております。

また、作品も会員の普段の努力によっていちじるしく向上しており、月々の例会もおのずと熱がはいってまいりました。

そこで同会では、十一月十二日午前十時から中央公民館で、第一回利根町俳句大会を開催し、和気あいあいのうちに後記のとおり入賞者が決定いたしました。

なお、この日は、茨城県俳句作家協会会長の成嶋瓢雨先生を講師にお招きし、選句と後評をお願いすると同時に、



とね俳句会 (十一月十二日)

特選句と得点の少なかつた者には、先生直筆の色紙が贈られました。

俳句会は、菊・朝寒・当季雑詠通じて一人五句ずつ出し、この中から、各自十句ずつよい句を選ぶという方法で行われ、二位と三位が同点、四位と五位が同点という接戦でした。

とね俳句会に入会して俳句を作りたいというかたは、中央公民館または、総務課広報係までお申し込みください。

【第一回俳句大会入賞者】

町長賞 山田 幸夫
議長賞 古田 和子
教育長賞 多田 芳子
公民館長賞 新井 柳子
商工会長賞 海老原和子

○菊の出来ほめあう仲も隣かな
手料理に一輪の菊そへてあり
筑波まで見通しのきく刈田かな
心病み眠れぬ夜や木の実落つ
冠雪の霊峰はるか朝寒し
朝寒や峰白き富士彷彿と
色分けし朝顔の種干してをり
折れ菊も小さく活けて子の部屋に
垣越しに菊誉められて心足る
渋柿も日にさらされてせられけり
晚鐘にさざんか白く舞いて散り
朝寒や嫁のやさしき若布汁
補聴器の子に馥郁と菊白し
秋霖に夕ぐれ早き窓の影

○下宿子に便り書きる夜寒かな
村社一めぐりして菊日和
入賞の菊花女竹に支へられ
朝寒や孫に寝枕たたかれし
愛憎は遠き日の夢菊大輪
頼まれし祝辞習いて夜長かな
老媪の菊作り居る日和かな
○咲きつめて色うすれたる菊の花
○朝寒や穂先の減りし竹ぼうき
○朝寒や妻は厨に五十年
○朝寒や湯音に明ける山の宿
○人の計に朝寒の衾かきあわす
七五三孫の晴着に目をほそめ
旅の道渋滞よそに秋の富士

【注】○印は瓢雨先生特選
次回の兼題は葉牡丹・こたつ

- 長沼 霞水
 - 井原 キン
 - 山田 登志
 - 高野 喜道
 - 石川 陽子
 - 五十嵐 英子
 - 白井 ゆき
 - 香取 照子
 - 多田 芳子
 - 宮原 美鶴子
 - 加藤 美智子
 - 小松 みよ
 - 山田 幸夫
 - 長島 平衛
 - 古田 和子
 - 海老原 和子
 - 白井 勇太郎
 - 羽入 つる
 - 足立 水石
 - 高橋 直
 - 杉山 たけお
 - 中川 やす
 - 海老原 甚三郎
 - 下村 慶子
 - 三谷 てるを
 - 新井 柳子
 - 大津 蒼崖
 - 大津 きく女
 - 大津 まこと
- (中央公民館)

